



令和6年度施政方針

区政の持続可能な未来に向けて

2月29日に開催した令和6年第1回区議会定例会本会議で、坂本区長が令和6年度施政方針を説明しました。
施政方針で示した予算編成・区政経営の方針、「3つの基本目標」に沿った主要事業の概要をお知らせします。

問 合

政策企画課総合計画係 ☎ 3579-2013

予算編成・ 区政経営の方針

生活・地域経済に多大な影響を及ぼしたコロナ禍からようやく抜け出し、まちに以前のにぎわいが戻ってきました。かつて経験したことのない風雪に耐え、デジタル化を積極的に取り入れながら、新たな日常の定着をめざし、様々な工夫に取り組んできた成果が、今につながっていると感じています。

令和6年度は、「いたばしNo.1実現プラン2025」改訂後の初年度であり、これまで取り組んできた「SDGs(持続可能な開発目標)戦略」「デジタルトランスフォーメーション(DX)戦略」「ブランド戦略」の3つの重点戦略のバージョンアップにチャレンジしていくための重要な年です。

そのため、令和6年度予算は、「重点戦略をバージョンアップ!未来創造積極予算」と銘打ち、物価高騰などの影響を受けて依然として厳しい状況が続く生活支援・地域経済の活性化対策など、緊急課題にスピード感を持って的確に対応しながら、「啓発から実践へ」「デジタル化を変革へ」「魅力を愛着と誇りへ」に向けて、積極果敢にスタートダッシュを掛けるための予算編成としました。



令和6年度予算の 主要事業 (概要)

基本目標Ⅰ 「未来をはぐくむあたたかいまち」

子育て安心

- ▶ 専門的な資格を持つ「産後ドゥーラ」が妊産婦の元へ訪問する産前産後支援事業を導入し、家事・育児の援助・相談対応を行うことで、産前・産後の負担軽減・育児不安の解消を図ります。
- ▶ これまでの訪問型・宿泊型の産後ケアに加え、日帰りで利用できる通所型の産後ケアを開始します。また、宿泊型の産後ケアの自己負担の軽減・利用日数の拡大により、出産後の不安解消を図ります。



- ▶ ケアラー(児童養護施設などで社会的な養育を経験した方)への支援を強化するため、居場所づくり・自立前の施設訪問・なんでも相談などの伴走型支援を拡充し、関係機関や若者同士がつながる仕組みづくりを進めます。
- ▶ ヤングケアラー(本来おとなが担う家事・家族の世話などを日常的に行っている子ども)専門のアドバイザーを設置し、関係機関への支援・連携体制の充実を図ることで、早期発見・迅速な支援を推進します。



魅力ある学び支援

- ▶ 令和6年度においても、経済的な負担軽減を図るため、学校給食費の無償化を継続して実施し、児童・生徒の健やかな成長を支援します。
- ▶ 中学校の部活動で試行実施している「いたばし地域クラブ」を正式なクラブとして位置づけるほか、サイエンスクラブの新設・部活動指導員の配置拡充・シンポジウムの開催などを通じて、中学生の新たな活動の場・居場所づくりと教員の負担軽減に取り組みます。
- ▶ 志村小・志村四中の小中一貫型学校・上板橋一中の改築に向けた実施設計を完了し、工事に着手します。また、板橋四小の増築設計と板橋六小の改築に向けた基本構想・計画策定を進めます。



安心の福祉・介護

- ▶ 板橋ジョブトレーニングセンターの受け入れ体制の拡充やピアサポーター(ひきこもりの経験を活かして活動する方)の配置を行い、ひきこもり当事者の居場所の常設化やひきこもり支援の充実を図るほか、多様な求人・社会参加の場の開拓により、一体的な支援を推進します。
- ▶ 包括的支援体制の構築・幅広い相談支援を行うため、3つの福祉事務所体制から区内全域を所管する1つの福祉事務所へ転換するとともに、障がい者への一貫した支援体制の構築に向けて、組織・窓口を再編します。
- ▶ 板橋キャンパス跡地を活用し、民間活力による多機能型の障がい者施設の整備を進めるほか、重症心身障がい児などへの支援が可能な児童発達支援事業所の整備を促進し、障がいの特性に応じた切れ目のない支援の充実に取り組みます。

2面に続きます